



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月11日

上場会社名 日建工学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9767 URL <https://www.nikken-kogaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 皆川 曜児
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 長濱 龍夫 TEL 03-3344-6811
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	1,982	△4.8	209	76.8	218	59.3	157	60.1
2021年3月期第1四半期	2,081	43.0	118	—	136	—	98	—

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 126百万円 (6.7%) 2021年3月期第1四半期 118百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	86.09	—
2021年3月期第1四半期	53.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	6,635	3,305	49.8
2021年3月期	7,668	3,233	42.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 3,305百万円 2021年3月期 3,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	3,300	△23.7	200	△58.6	230	△54.9	160	△59.7	87.72
通期	7,200	△32.0	500	△59.1	550	△57.0	380	△62.5	208.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期1Q	1,862,254株	2021年3月期	1,862,254株
2022年3月期1Q	38,547株	2021年3月期	38,507株
2022年3月期1Q	1,823,717株	2021年3月期1Q	1,824,007株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想の前提条件等に関する事項につきましては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種進行による感染症収束への期待と変異種による感染症拡大のリスクを抱え、先行き不透明なまま、企業業績の底入れの兆しが現れているものの景気低迷の長期化が懸念される状況で推移いたしました。

建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移しておりますが、依然として建設業界における労務単価、建設資材価格等の動向にも注視が必要な経営環境にあります。

当社グループにおきましては、新たな受注の獲得と利益向上へ取り組み、合理化・効率化施策を継続実施することにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,982百万円（前年同四半期比4.8%減）となり、営業利益は209百万円（前年同四半期比76.8%増）を計上し、経常利益は218百万円（前年同四半期比59.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は157百万円（前年同四半期比60.1%増）と減収増益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

型枠貸与事業

前年度までの台風や集中豪雨による災害復旧工事が当第1四半期に工事が堅調に執行された結果、売上高は473百万円（前年同四半期比6.75%減）となり、営業利益は83百万円（前年同四半期比14.7%増）となりました。

製品販売事業

災害に対応した河川用護岸ブロックおよび土木シート製品が着実に出荷された結果、売上高は1,508百万円（前年同四半期比4.15%減）となり、営業利益は126百万円（前年同四半期比175.1%増）となりました。

なお、当連結会計年度より、報告セグメントの名称を従来の「資材・製品販売事業」から「製品販売事業」へ変更しております。当該変更はセグメント名称の変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は6,635百万円となり、前連結会計年度末比1,032百万円の減少となりました。

その主な要因は、受取手形及び売掛金の減少1,067百万円、投資有価証券の増加65百万円等によるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は3,330百万円となり、前連結会計年度末比1,104百万円の減少となりました。

その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少606百万円、未払法人税等の減少212百万円、長期借入金の減少54百万円およびその他に含まれる未払消費税等の減少151百万円等によるものであります。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は3,305百万円となり、前連結会計年度末比71百万円の増加となりました。

その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益等による利益剰余金の増加102百万円及びその他有価証券評価差額金の減少30百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、2021年5月14日に公表いたしました業績予想と変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,524,172	2,527,425
受取手形及び売掛金	3,019,464	1,952,298
電子記録債権	457,418	425,394
商品及び製品	272,844	247,027
原材料及び貯蔵品	12,978	13,310
その他	87,857	138,412
貸倒引当金	△8,761	△8,546
流動資産合計	6,365,976	5,295,320
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	231,403	213,612
その他(純額)	218,408	207,673
有形固定資産合計	449,812	421,285
無形固定資産	18,167	17,592
投資その他の資産		
投資有価証券	623,302	688,626
その他	359,554	361,321
貸倒引当金	△148,330	△148,330
投資その他の資産合計	834,525	901,616
固定資産合計	1,302,506	1,340,494
資産合計	7,668,482	6,635,815
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,407,875	1,801,206
1年内返済予定の長期借入金	195,983	184,295
未払金	240,048	179,780
リース債務	89,526	86,636
未払法人税等	278,502	65,885
その他	359,728	215,292
流動負債合計	3,571,665	2,533,096
固定負債		
長期借入金	467,500	425,000
リース債務	155,987	139,505
繰延税金負債	76,929	71,192
退職給付に係る負債	125,040	123,785
その他	37,811	37,811
固定負債合計	863,269	797,294
負債合計	4,434,935	3,330,391

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,427	1,004,427
資本剰余金	541,691	541,691
利益剰余金	1,612,705	1,715,006
自己株式	△65,666	△65,749
株主資本合計	3,093,158	3,195,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	140,388	110,047
その他の包括利益累計額合計	140,388	110,047
非支配株主持分	—	—
純資産合計	3,233,546	3,305,423
負債純資産合計	7,668,482	6,635,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	2,081,725	1,982,093
売上原価	1,623,051	1,433,708
売上総利益	458,673	548,384
販売費及び一般管理費	340,133	338,751
営業利益	118,540	209,633
営業外収益		
受取利息	14	9
受取配当金	4,259	4,788
棚卸資産処分益	1,272	5,687
貸倒引当金戻入額	15	214
保険解約返戻金	14,921	—
為替差益	74	46
その他	534	802
営業外収益合計	21,092	11,547
営業外費用		
支払利息	2,276	2,024
手形売却損	215	—
その他	154	945
営業外費用合計	2,646	2,969
経常利益	136,986	218,211
特別利益		
固定資産売却益	4,810	—
特別利益合計	4,810	—
税金等調整前四半期純利益	141,796	218,211
法人税等	43,707	61,198
四半期純利益	98,088	157,012
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	98,088	157,012

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	98,088	157,012
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,640	△30,340
その他の包括利益合計	20,640	△30,340
四半期包括利益	118,729	126,671
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	118,729	126,671
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

型枠貸与事業については、顧客が当社の鋼製型枠を使用して製作したブロックの個数に基づき、収益を一定の期間に渡り認識しております。

製品販売事業については、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	507,722	1,574,002	2,081,725
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	507,722	1,574,002	2,081,725
セグメント利益	72,602	45,937	118,540

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	118,540
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	118,540

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	473,428	1,508,664	1,982,093
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	473,428	1,508,664	1,982,093
セグメント利益	83,246	126,386	209,633

(注) 当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を従来の「資材・製品販売事業」から「製品販売事業」へ変更しております。当該名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前連結会計年度のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	209,633
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	209,633

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	製品販売事業	
一時点で移転される財	—	1,508,664	1,508,664
一定の期間にわたり移転される財	473,428	—	473,428
顧客との契約から生じる収益	473,428	1,508,664	1,982,093
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	473,428	1,508,664	1,982,093